

令和6年度 シラバス

科目名	単位数 (時間数)	学科・学年	担当者氏名
衛生管理 (感染症)	1 単位 (30 時間)	理容科・2 学年	高山 千香
学 習 目 標			授業の方法
衛生管理を学ぶ目的は、理容業・美容業が不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接接触し、刃物や薬剤などを用いて業務するところにあるため、感染症の正しい知識と拡大まん延を予防対策、そのための環境衛生の保持への関連付けを重視させ、理容業・美容業における具体的な衛生措置について理解させる。			講義
成 績 の 評 価 方 法			
定期考査 (60 点以上を合格とする)			
教 科 書		副 読 本	
衛生管理 (公益社団法人 日本理容美容教育センター)			

学習指導年間計画 (授業計画)

章	項目	学習指導目的	履修時間
第一章 感染症の総論	1 節 人と感染症 1. 感染症発見の歴史 2. 感染症と法律 3. 感染症の分類	<ul style="list-style-type: none"> 人類が長い歴史の中で感染症、とりわけ伝染病とどのように闘ってきたのかを学習する。 公衆衛生学、微生物学などの発達の状態を知り、さらに感染症の体系を学習する。 	4h
	2 節 病原微生物 1. 微生物の種類 2. 微生物の形と大きさ 3. 微生物の構造 4. 微生物の増殖と環境の影響	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の原因となる病原微生物について、その種類、構造、成分などを学習する。 生活の状態、増殖の仕方、環境の影響などについて理解させる。 	5h
	3 節 感染症の予防 1. 微生物の病原性と人体の感受性 2. 汚染、感染及び発病 3. 常在細菌叢 4. 免疫と予防接種 5. 感染症発生の要因 6. 感染症予防の3原則	<ul style="list-style-type: none"> 微生物の病原性と人体の感受性の相互関係と、汚染、感染、発病の経過を学習する。 免疫の仕組み、予防接種の効果や地域社会における感染症の発生の要素と対策について理解させる。 	8h
第2章 感染症の各論	1 節 理容・美容と感染症	<ul style="list-style-type: none"> 理容・美容の業務は、多くの人に接し、しかもその身体に直接接触して作業を行うものであることを学習する。 	1h
	2 節 主な感染症 1. 空気・飛沫を介して感染する感染症 2. 飲食物を介して感染する感染症 3. 血液等を介して感染する感染症 4. 動物・節足動物を介して感染する感染症	<ul style="list-style-type: none"> 理容・美容の業務を通じて感染しやすい感染症や、法律で就業制限が加えられる感染症の中で、主な感染症について病原体の身体への侵入・媒介経路別により学習する。 	8h
	3 節 感染症の各論 1. 標準予防策 2. 咳のある客への対応 3. 病変の皮膚をもつ客への対応 4. 嘔吐をした客への対応	<ul style="list-style-type: none"> 感染症で学んだことを参考にし、より具体的な接客時の感染予防対策について学習する。 	4h